

2024年11月14日
野村信託銀行株式会社

「PRIDE指標2024」において最高位「ゴールド」を受賞

野村グループは「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」というパーパスの実践において、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(以下「DEI」)の推進を重要な経営戦略の一つと位置付けてさまざまな取り組みを行っています。

野村グループの一員である野村信託銀行株式会社(代表取締役社長:岡田伸一、以下「当社」)は、職場におけるLGBTQ+※1への取り組みの評価指標「PRIDE指標2024」において、3年連続で最高位の「ゴールド」を受賞しました。

PRIDE指標※2は、2016年に日本初の職場におけるLGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティへの取り組みの評価指標として、5つの指標について評価項目を設定し、企業の取り組みを評価したものです。

<評価項目となる5つの指標>

- Policy(行動宣言)
- Representation(当事者コミュニティ)
- Inspiration(啓発活動)
- Development(人事制度・プログラム)
- Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)



当社は今後も、LGBTQ+を含む多様なバックグラウンドを持つ社員が安心して、やりがいを持って働くことができる職場風土を醸成し、一人ひとりが最大限にポテンシャルを発揮することができる豊かな社会の実現に貢献していきます。

野村グループのDEIの取り組みについては、[ホームページ](#)をご参照ください。

※1 L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシュアル、T=トランスジェンダー、Q=クィア・クエスショニング、I=インターセックスの頭文字です。+はそれらに限らない性的マイノリティを表しています。

※2 詳細はwork with Prideホームページ「PRIDE指標とは」をご参照ください。

<https://workwithpride.jp/pride-i/>